

つづき

## 津付ダムだより

## 平成二十年度事業概要

今年度の事業費は九億円です。調査設計関係では、河川の流量の観測や、水質の調査、環境調査などを実施します。ダム建設に伴い切り替わる付替国道(397号)を造るために必要な橋梁やトンネルの調査設計も実施します。

工事関係では、昨年度着工した工事用道路を、継続して工事実施するとともに、付替国道(397号)の二号橋梁の橋脚工事にも年度内に着手したいと考えています。

本格的な道路工事は秋以降となると思いますが、昨年度同様、川の濁りや土砂の流出を最小限とするように、細心の注意を払って工事を進めていきます。

## ダム建設事務所

## 新築工事に着工

世田米字川向地区(住田町役場東側)で、ダム建設事務所新築工事に着手し、年内完成を目標として、工事を進めています。



(事務所新築工事の様子)

## 河川大清掃実施される

陸前高田市と住田町の気仙川沿いで、過日、河川大清掃が多数の住民の方々により行われ、当事務所職員も参加し清掃活動の大切さを共感しました。身近な自然空間である河川の豊かな自然環境を、今後もみんなで守り育てていきましょう。



(活動の様子―気仙川河口付近)

## 質問コーナー

(質問) 『森と湖に親しむ旬間』ってなんのことですか？

(回答) 国土交通省と林野庁は、毎年七月二十一日から三十一日までを『森と湖に親しむ旬間』として定めています。

この旬間は、昭和六十二年度より開始され、みなさんが森林や湖に親しむことにより、心と体をリフレッシュしながら、森林やダム等の重要性について理解していただくことを目的としています。

旬間中は、国土交通省、林野庁、都道府県、市町村等が主催者となり、全国各地でダムや発電所、水源林などの見学会やレクリエーション等が実施されます。

気仙地区では、大船渡市にある鷹生ダムで、七月二十七日(日曜日)に開催され、時折小雨の降る天候にもかかわらず親子連れなど多数の方々が訪れ、にぎわいました。

鷹生ダムでは、来年度も同じ時期にイベントが開催される予定です。ので、ぜひご来場下さい。

## 気仙川の防災対策マメ知識（第5回）

前回は、**水防（すいぼう）**について紹介しました。  
今回は、**気仙川で想定される浸水区域**について紹介します。

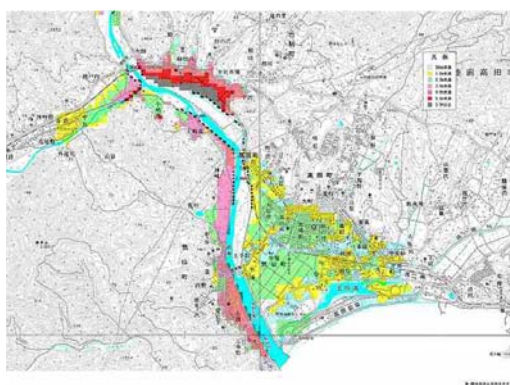
### しんすいそうていくいきず 浸水想定区域図

県では、気仙川が氾濫した場合、市街地や農地などで想定される浸水区域と、浸水する深さを示した「浸水想定区域図」を作成しています。

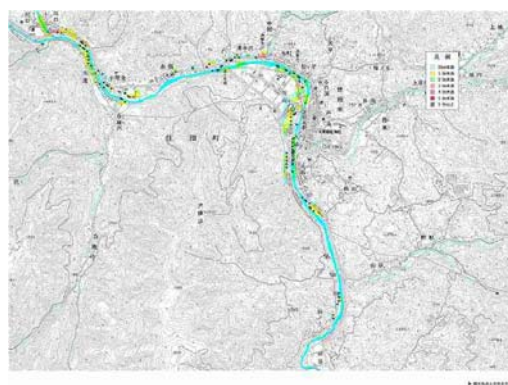
これは、気仙川の治水計画に関する説明会などで、皆さまにお示ししているほか、津付ダムの公式ホームページ（下記のアドレス）では、**拡大してご覧いただく**ことができます。

[http://www.pref.iwate.jp/~hp4580/kawa\\_thisui/souteikouzui.html](http://www.pref.iwate.jp/~hp4580/kawa_thisui/souteikouzui.html)

下の図は、気仙川流域に**約70年に1度**の確率で発生すると考えられる豪雨（2日間で約266ミリの雨）が発生した場合の「浸水想定区域図」です。（紙面の都合上、小さい図面での表示としています。）



（陸前高田市中心部）



（住田町中心部）

### 浸水区域は、どのようにして決めたのですか？

大雨や洪水は、いつ、どのように発生するのか、正確に予測することはできません。

このため、浸水想定区域図は、雨の降り方や、堤防の壊れ方など、国の基準に基づき様々な条件を設定して作成しています。

また、浸水想定区域内（宅地や農地、道路など）の地盤の高さは、すべてを把握できないことから、50メートル四方の範囲の『平均高さ』を基にしているほか、沢や道路側溝などからの出水は考慮していませんので、必ずしも図面のおり浸水するものではありません。

しかし、気仙川が氾濫した場合は、このような浸水被害が発生することが十分考えられますので、日頃から、洪水に備えて、避難経路や避難場所を確認しておくことが大切です。

### お住まいの地域の情報をわかりやすく！

浸水想定区域図は、住民の皆さまに認識され、活用されることが最も大切です。

このため、陸前高田市と住田町では、今後、この浸水想定区域図を基に、地域ごとの拡大図や避難場所などを記載した情報図面（洪水ハザードマップ）を作成するなどして、お住まいの地域の情報を、住民の皆さまに分かりやすくお伝えすることとしています。

### 急激な河川の増水に注意しましょう。

その場所で雨が降っていなくても、上流で激しい降雨があった場合などは、急激に河川の水位が上昇、増水することがあります。突然の雷雨などが多いこの時期は、特に注意が必要です。